一出没 シニナカ日 他七時分署長竹田警部は署 シニナカ日

八海湾分署に終ては最近同分と、管内三山村東に織財村方面

質に六十數回

大塚巡査悲壯の殉職

匪賊の討伐

「天津二日韓國通」論別用線をき若力の開資なる移動入園をを若力の開資なる移動入園を大東公司が引受ける事ざなり一日より天津 秋 山街事務所で事務を開始した。今後大東公司の健康のないものも渡り 民ので 青島、山海鶴、芝罘には一切許可されぬ事さなつて

> 設立さる 大同クラブ

> > 施行細則 日級金買入法

捏造記事

社会類の収額は特に北浦、熱 社会類の収額は特に北浦、熱

尙餘裕綽

東亞煙草

タス通信の

一夫々出場所が開設された

鐵道運輸收入 四億五千

(機構関通) 本邦場米輸出の信機構関通) 本邦場米輸出の信機構関通) 本邦場米輸出の信機構用等により機構市中區山下間を店が着よ四月限りを以て機構支店を開鍵することをなったに 同商會は安政大年のリスたに 同商會は安政大年のリスたに 同商會は安政大年のリスたに 同商會は安政大年のリスを明確を出るや英一番の名の下に

下ゐるが、去る仕三日モスク

- 明邦では祭んに極東方順の(東京國州) 義にソヴィエー

外務當局警告か

商會遂に閉鎖 4

な生めいた情報が、たいよいでいた。

ふ然だけでは、容易に物らなかしかし他一は弱った。只鳥見と

燈を指さした。

の歌の人なのですかー

- J. F. 郡は、こ

女の要など、

龍町の種質の夜に

「なにか、野用ですの?」

花

知識の普及を図る事さなつた知識の普及を図る事さなつた

た概算によれば縁收入電に四種 積を示し二日午後集計を了し、環境運輸収入は帰想外の好战

「東京國油」 今議會通過の日 のであるが前偏重に案を練つ を上職相の決裁を求の承諾を 特れば六日公布を共に實路の 各で實施を同時に高金買上價 格の改訂が行はれるが之は現 格の改訂が行はれるが之は現

七十萬 七十萬 七十萬 七十萬 實に六千五百

数交渉に對し在支日本外交機能から抗額をなす を取削しこと おがらは何れも脳内を終てと 島醫院

おとがいてあるととされ、彼には

といふ人は、皆やしないかねで

娘は仔細らしく、首を焼げてい

新町新京ス度 長野新房職電が3条名電話三 長野新房職電が3条名電話三

品注會理

速大店本

「あの――間の歌に、芙美子さん

瀬定パス内の族告欄を御利用 田良 中口は効果絶大なる

業

E

うとう都れ當てることが出來た。

つへ来た人なのだが

それでも、やつとの思ひで、

小蔵から、今年の一月頃に、とち

家の房代腹さんのことですわ、**

いふ男無は、なかし

有へる様子をした。

東省軍や料理屋の表を、ウロウ

た等 神優秀ならのみなら女、事製 問同温金は昭和二年十月外務 問同温金は昭和二年十月外務 明日、平紫殿務に精助し成

部長以下五名さ連絡し負傷者 折柄機接に出動した機瓜巡査

は『静脈の観线を耐であったが、 一般にある家で、家の棚へは、そ

おいまで歌(ヤつであるとかえ

が見まとして、入口から前を吹 他一が思べてゐる間に、娘はよ



知らかかったのである。



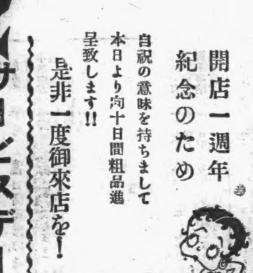




部

先

旅



進

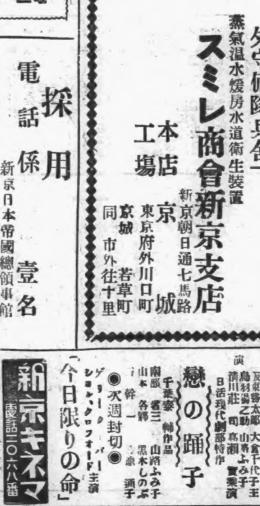
品





電

話採



今日限りの命」

人見田喬次作品 人見田喬次作品 人見田喬次作品 人見田喬次作品 人見田喬次作品 人見田喬次作品 日活現代劇部特作 日活現代劇部特作 一本 各郷 温木しのぶ 二本 各郷 温木しのぶ 二本 各郷 温木しのぶ 二本 日本 温木しのぶ 一本 高瀬子

社亂のモンテカルロ

自四十月二十年九百大 可認物便郵程三第

(水) 日四月三

能構の悪宝様を疑し其性意を促 とを重大親するご共に成は破 の悪宝様をなす事に對し

線を行

宗內

新の如く

春耕期を控に

高びである。其の内容を観る ないご観られ、眼道省では大 ないご観られ、眼道省では大

各線共貨物持込旺盛

京鐵管內一日平均三千五百噸

に貨物收入は二千三百九十六 馬九百十一國、旅客收入は二 千二百四十四萬五百五十二個 である。而して貨物收入好調 である。而して貨物收入好調 である。而して貨物收入好調

振興の爲 實業教育

たって悪いた代をの総銭問題 かったうとうないた代をの総銭問題

笑が賑やかに眺えて来る。 女の様

洋ル職

人求

數名至急

經

解~情報づいて、排例の異気が、

(百三十二)

(荒川 芳三郎香)

災を図る目的を以て全國中等文教部では國門實業教育の振

を で して、 を の 夜の 八時 で とって 他一は、 茂彦の ことをお

それならいつそ料理屋か符合へ

泰盛洋行

驗

一度主なる築設場所

日本に派遣

中であつたが母大省より十名學校より優秀なる教員を詮衡

夜分ひとりで外出するなど、

をものだが、他一にはまだ、そんなものだが、他一にはまだ、そんななが、他一にはまだ、そんな

大文が日長 離れる出來地 目後を大種級あり高島で解易 自然業務のガキで申込次等自 則送る 東京市中目黒十四國 民教育版側自

3

北安鎮兵舍

各一名、興安省、名計で七石の百林名、黒龍江宮、北浦特區

此の闘子が頼けば金盛期に恢一千四で前年度に比し千六百萬一千四百六十三國の大増牧で

本年度ソ聯極東工業

留界を校はたの和くである。 留界を校はたの和くである。 留界を校はたの和くである。

としては参与しいことであった。やがて彼は、目的の世界へやって際た。」
といふ駅本屋なのか、時間の世界へやつでであった。

子戸が開いて、十五六になる娘が

は瀬日館で 電話三人の二番組役上 現在公案中の下宿

その「青柳」の前に立つて、マ

實

外守備隊兵舍

海拉爾兵舍 齊々哈爾兵舍

施工

計一四四五基

~して居ると、突然入口の格

出稼ぎ苦力

(ハルビン関語) 三日書地に の個形工業投資は十八萬ルー フスクに ニコリスク等極東各 カー九三四年度に於けるツ帯 ち一九三四年度に於けるツ帯 なべスク、ウラジオ、ハバロ スパスク、フラジオ、ハバロ スパスク、ファコール工業等

をいふととだけを、実勢すの語で をが、階ひとつの手献りである。 それだ である。それだ

唯わづかに、納主の家が、

「君、君、ちょつと歌きますがね

神辞類製造工場設備門様 ●正馬力モーター1台

他一は思ひ切つて飲いてみた。

の情のいであった。

に、尺滑れのした花柳駅の女だけ。

目下極業中の房至急讓り申し

突然魔をかけられて、娘は魔に

の難。特な家を出て來る作品れて來

を選らすやうな事はしなかった。

東三馬路スズラン供奥部下宿等に適す。 フェー科理店旅館

御

開

電話四七九六番

大東公司で一切を引受く

総湾へ建設された外人商館の

満人間に





四月三日。公開

本年先づ川上式を採用さる ーチカ二百五十餘四賓巓道聯隊兵舍

職器デエレターリフルフ 職器・エレターリフルフ アンナ・ステン アンナ・ステン

(日

呂長官渡日

ピン特別區

るさ停へられる所に依れば てソロが加入の條件さして

現代はない模様である際によの反射があつて管容易にも英妙、イタリー、フラン

領支感例の好輔は各方面に著し、北平四日軽減過〕 最近の日

館で開かれる演忌記念奉讃箱

から九日まで高野山大學園客

(高野山岡通) 來る五月二日

山に参拜するがとれを機會に河北殿務顧問王揖唐氏が高野

の某有力者さ會見するこさに なつて居るがその會見の結果 は注目されてゐる

ある

吾塚は協心協力國民道徳

育の上に光輝あるしめんこを観場し楽園の鴻葉関係教

きなつて日支開河武言密教研問馬が中心

中日密教會組織

を解く通信社

聯盟加入各國かソ聯邦

後四時半級領車で8本訪!!の ン特別市長呂美賓氏は三日午

一、不侵略條約締結を加入

國に希望

人種単等種の要求

兩特使を迎へ

國民的大交驩會開催

*

開戦巨頭連の會見によって一 政策も右日補刑副政府並に

(=1

ふから商議開 日満間になつた提案を説明 末だ相當の懸隔

果同交渉に對する日滿當局の成案を得たので、廣田産目錄と資産負債表でソ聯側提案の全貌が判明し、 觀を許さず き滿洲側の提案を説明、 る滿洲側の提案を説明、商識をなすが、双方の提案間には未だ相當の懸隔あり、樂米同交渉に對する日滿當局の成案を得たので、廣田外相は四日ユレーネフ大使を招應目錄と資産負債表でソ聯側提案の全貌が判明し、外務當局は滿洲政府と折衝の結(東京國通)北鐵交渉は三月二十三日ユレーネフ大使より廣田外相へ渡した北鐵財

日滿提携經濟建設 歩を進め

の関議で永井柘村禄唱の流洲日東京制護)政府は去ろ州日 果京で日、満、満磯の首脳者會見

六日門司管、八幡製銀所書籍 の盛なら見送りがあつた! 居 は の盛なら見送りがあつた! 呂 は を を と の の の を な ら し き の 感な ら 見送りがあった! 呂 き の を な ら し き で 大 健 州 帆 上 聯盟 の豫定である 人問題

近く會見、暴談を設ける筈で 観信機能の方針を大体承認し奮

田園を表は特に帰任期を十一 正副橋裁は特に帰任期を中一 正副橋裁は特に帰任期を中一 正副橋裁は特に帰任期を中一 正副橋裁は特に帰任期を中一 正副橋裁は特に帰任期を十一 正副橋裁は特に帰任期を十一 正副橋裁は特に帰任期を十一 正副橋表は特に帰任期を十一

に関し55務省に達した艦情報ート扇邦の国際警覧加入問題

四、不戦後的で勝原規的で 等であるが右は何れも歐洲 等であるが右は何れも歐洲 をであるが右は何れも歐洲 をであるが右は何れも歐洲

云へ共チェッコモフィ ンドの如く未だ相互に承認

由コラソリ南下弦に對議問題・大月半の物定を以て平漢は呼ご日午後十時滞在的一支到日空観好得を待つた黄手支到日空観好得を待つた黄手

近日領支の接觸盆々緊密さな

退却するこことなった

エング、ポストを始める社団

をなしてるた各郷通ば社は最

解決のスタートを切つた

満支感情の

好轉に

來朝を機し

さして元河北省内傍總長。現下津に壁楼中の段祺堀氏代題天津に壁楼中の段祺堀氏代題

組織し日支の緊密なる文化的党家を網羅する中日密教會を 根拠に貢献するこさになった

揖唐氏の

を綜合するさこの問題は「三二

奥論を喚起してゐるソヴィニ(東京國通)吸吐世界各國の

簡單に進捗は困難

スター

トを切る?

のるが首相今回の間会訪問に

附が愈よ積極的に関策途行に収つて民振りの肚を決した政 出せんさする折柄我計補語

又聯盟改造!! 人種平等等もで加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認ので加入さ同時に政府の承認の

上朝鮮春由五月一日新家職者五十五分東京帯、二十日糠京五十五分東京帯、二十日糠京

れてゐる

|名地暦を気時に支那公安局の||【上海二日發國通】昨一日朝 ブラタップ氏 釋放さる

簡單に進行せぬもので云は相容れないものがある上に相容れないものがある上に相容ないとのがある上に 内督研究に於て王公貞長以下一峯中、特別不動産取得和、特別京特別市自治委員會臨時會一極、趙、何。吳、建委員等出席

第二次市營住宅建設等を可決

新京特別市 自委會臨時會議

し勝ちである事實に鑑み近く が4の巧みな逆質嫌が附き機 が4の巧みな逆質嫌が附き機 佛租界の中國青年會館で、

動に就き慎重考慮を続るして際の真面壓迫を慎れ今後の行際の真面壓迫を慎れ今後の行 (上海三日 段間頃) ブラカラ 講演會開催 一、 文相簿完に仲よ関係股施 は現内閣が政策に基礎を図 むるこさ

近く佛租界で

事任女相は輿論の帰籍に

根の如くだが、 プラタップ氏プ氏が昨日 釋放された事は既

の一致を見た模様で

事往來

即勢大衆だけに一

では沿道各所の職

相には松本、南に後離三 れも一長一短であるから

4.4、かき原想されてゐる 鉢は城切箸兵衛氏に廻るの

の通牒に依ろ旅券検査の貸ぎ

本門相を協画の結果 ・ 本門相を協画の結果

後任文相

堀切善

兵衛氏有力

鑑み成可く政策人以外に求

討匪行後の

利して関軍の無

して一回感 実息、泉后

從つて此際関僚入替は遺

概合に落着いた。

け難いがこる同時に現

一月二十七日高玉峯攀襲撃の数凡を三四百を第へられ 校等の壯烈な長後をあらあるたの物後い戦闘や日下少 りき物語つてゐる、何せよ

賊を僅か数人の日本人が迎 せる日本軍務校が舌~卷

各地市場

玉さば製造卸

日本橋道十大番地

人美容院

OEOGI OEOGI

木縣人並綠故者に告ぐ

四月七日

度倒漏門市上鉄

升柴欄地出資の件、小祭校 税職業税を保留し同案可決 の件等を討議全部可決午後設の件。第二次市營住宅建

字に扱きまわし自及し果て兇みを制に日本刀を腹一女

◆機井少路(崎安遊廳職司令 (南京) 以下二十七名軍院拜受 (南京) 以下二十七名軍院拜受 のため三日午後七時三十分 来京 本山口等の表長(南銀)111日午後 七時三十分保范家屯へ

大連株式

战显光五

지 장

충

場所 養宴樓 (午後六時) 電宴樓 (午後六時)

はぬ魂の所有者だ

古海士

ながら致命傷を資ふて飲の

て験嘆したのも無理はない

大

と情教に新仪舎一校を建築会署では満洲より十五馬國会署では満洲より十五馬國会署では満洲より十五馬國会署では満洲より十五馬國

央銀行より年利六分五厘三 の 会に第一次市気生宅を建設 の件 年据置二十ヶ年均等償還 質金五十萬圓を借款し間

對滿問題解决

七十三戸計百五十一

黄郛氏秘密裡に南下

ニュー×蒐集網に銀合の立場 く人、P、U Pハッス、モーしい影響を與へてゐるが模束 るやその存在價値を失ひ、近

(吉林國班) 最後の跡 去る一月二十七

十一日本式 (內產物井三京新) 名合井三 看權實 ▲滿州國武官二十五名七日午 後四時三十分最內據へ 八日午後六時九十分來京、 八日午後六時九十分來京、 九日午後十時被奉天へ 九日午後十時被奉天へ 九日午後十時被奉天へ

銀塊及為皆

滿洲

語

研究員募集

海外經濟

九八七六九四名 月月月月月

大阪 100000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 100000 100000 10000 10000 10000 10000 10000 100000 10000 10000 1000

奈良

協町小學校員

○劍□店

精神作典大會決議は左の如く(東京脳邊)全側小巡校教員 全國小 精神作與 大會決議 學校教自

アス米米代配素 ー 二十七五三現ナチ支日英育報 ガーは電電電視機・ 月月月月月 ンル替替散塊塊 段限限限限制 物が 体

横濱生糸

開講

四月五日

て、自午後一時至三時中、自年後七時至九時

乙。簡易支那會話篇(件支邦)

て、初春者で部語を解し得るか(男女)

四個月修業

-

•

査

本がなり、

▲月月月 ◆限限限 ★大連特を表示を表示 **第四回** 五 大智化の分一大智化の分一

疊 所京東二條道四三階上(南破勝/西)外群線は御米間を願る

滿洲語學研究社

(1) 御用命は!

お同ひ致します 新京朝日 山村疊 電話三七九番 店 E

之哉も難計略儀乍以紙上御深謝候自然御尊名同ひ洩有 忙中御曾葬を辱し御芳情奉 次女光子告別式の際は御多 昭和九年四月四日 **藤諏** 崗訪

光榮の軍旗 ~~~ 息よそり輝く事さなつた。富元に軍族を親授され、國軍の光彩に軍族を親授され、國軍の光彩

養昭には清油伯、時木、若

機に備へる爲士官

三百名、海兵二千名

害

(東京國通) 米國では來るべき國際危

米國海軍人員擴張

を増加海軍を八萬五千

| 版例 | 日本青年會館で行はれた、會日本青年會館で行はれた、會日本青年會館で行はれた、會日本青年會館で行はれた、會日本青年 使椰孝近月、熈治州大臣 職伯等主義の満洲帝國修聘特(東京國通)林陵相、田中光

昨日日本青年會館で

表する答解を適問されば曾 本は再び真信の加拿拍手を以 で「満洲総皇帝陛下萬歳」を 一二二日 サれば郵特 一二二日 サれば郵特

國際危機

の機を終了した 場年後三時この國民的**交融の**

たるの本分を全、せんこと

吾等は至誠一貫戦分を戦

東亞同文會等滿洲4條二十二 滿洲關係廿 一團體主催 兩特使歡迎會

東京會観で精浦伯、永田秀次東京會観で精浦伯、永田秀次郎、山本悌一郎、光永星郎町 孝介野多五百餘名出席、満州町は特使、随員及陪覧たる丁士源及使参参列し、清浦伯の敷迎の際、郷棚機の答解あって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって侵歌族に入り、高歳をごって

愛國勞働團 体勞働祭

非常時勞働者の 使命を高調し

第三三回 第一回 第一回 ★大連金砂票 114500 114500 (付 114900 114500 (付 114900 出 4500 出

▲上海教倫向 | 一語片(分) 三部 三十二三

六五四現 月月月 段限限 ● 怕 豆 لله

六月限物

2525

大連上海向 大連上海向 150 150 150 新京市况 架豆產 型 00 2 数

五名入用御希望の方は左記へ十四、五歳より廿歳迄の巻四 五五米 車車高

現大作動企業 3 作 動企業 3 作 動企業

三日午前九時

歌外観覧真元(二五)

料理に不足があつたので自分の食をさらなかつたので自分の

し屋根一部を熄失し同五十分二日午傍五時三十分ごろ出火

永勝公司こさ萬倫単氏方から

無限のでは、 ・ では、 、 では、

をが三月三十一日親り委任器 に関する業務を朝鮮戦道ホテ に関する業務を朝鮮戦道ホテ

▲市内富士町六丁目十八番地 も浮きたも火の用心を忘りが し深まなり火事騒ぎが明後……

取明べたさとろさくいのこさ がら直に接股があったので同署 がら直に接股があったので同署 がら直に接股があったので同署

通切は處置を執つて貰ふことを受けつけ適當の時期にされ

き効

森口普校々長

ハ日着任

板

場さり

という が判明し双方に修正説線をなが判明し双方に修正説線をなったこと

滿鐵貸付地

申込み續出

前笛木新京普通學校長の後任は前營口尋常高等小學校々長は六日著任の輩定で笛木氏は同校長に事務所引權後東站の古長吉敦小學校に赴任するがさのかへ中四日午前十時同

(上施二日設國通) 福州國参 加問題に属する日本。支邦、 フィリッピンご園園卓命職は 念よ四月九日上海で開會され る事さなつたが三國風卓命職は

京城朝鮮ホテル、平壊祠道 高貢管で中るこさになつた

九日開會の

卓會議日程

見學版行團 新京高女江南

・織道島直營さなつたこれき同時に安奉線列車食堂

件は商店街、六件が住宅類、付けは二日から開始すれたがの日は全部で二十件、門十四代は二日から開始すれたが

三日は祭日で受付け中四日午

校に顔出しだけして来た

亞細亞民族聯盟が

聲明書を發表

一、 衛州國 参加問題

朝鮮鐡道で

直管に改む

新京署及び各區長で開査であった新京階風地門外における質協見量数は三日までに八名さなり五名が塩町小規模三名が塩町小規模三名が田原場小単校の見畫である。これ等 質協 見重 には食

一、女子庭綠選手權問題

新京の貧困兒童

石に増加

整に印度の参加確認室

列車食堂

一般選手權股止問題

脚山駐(元長安寺ホテル)内金駐(元温井里ホテル)内金町は日倉館外金剛山

水日学後十一時間、、ご日中 ・ との病者もなく似めて元気 ・ に見暴を付けてゐる。一行は ・ この病者もなく似めて元気 ・ この病者もなく似めて元気

新京守備隊

(上海三)日

發國題) 上州潜在

満の途に

四日朝歸

極東大會参加やプ氏問題で

聞

受別率で某地に移転を命ぜる □□□)は同日午後一時川平街

一一日午後九時ごろ南嶺居住荷

られる向があるので電分これ のでき本社に製金客托を申出 のできな社に製金客托を申出

三日午前十一時半頃域内西四門 高路買業部大臣張燕縣氏住宅 内自動車運轉手部屋より出火 連煮園側消防除の機飲な活動 で大事に至らず消止めたが、 日下間邸は最大臣、家族も住 つてるず、外交部自動車運輸 手間某其他が留守居をしてる たものである、尙原因はスト たものである、尙原因はスト

人夫頭殿らる

たが醉が過ぎ時刻に遅れた

取まかれ袋叩にされ貨傷を資大賃不拂かる婦人々大九名に大賃不拂かる婦人々大九名に

型で属立中偏第〇〇〇除第〇 ろ四年街譚南方的二キロの

春!自殺頻々

歸營が遅れ

責任を感じ自殺

某地移駐の

図館大火罹災者に関する義捐金は既職の頭も一先づ三月三十1日を以て締切の北海道澤太同人會優ひの五百二十九圓上群網なる客叫金崎衛門十三百十二圓上群網なる客叫金崎衛門十三百十二圓上群網なる客叫金崎衛門十三百十二圓上群網なる客叫金崎衛門十三百十二圓上群網なる客叫金崎衛門第一十二百十二回上華網でを以て通館市長板本森一氏宛に登送したから不日表の同情が何等かの方法を以て罹災者に停へられることもに挨拶があることも

は自宅内で阿片を多量に服用は自宅内で阿片を多量に服用

一、飼華日には皆「闽華Bの

の日「國華日」を讃へませ

義捐金二千三百圓を

函館市長宛送附

九件四四件住宅地、五件が商

日本總領事館宛

婚約解

上海支那官原に對しアフガン人プラタップ氏の釋放交

寄附者の詳細名簿を添いて

黒田嬢の

ラヤ殿下さ

店街である

張實業部大臣の

舊邸出火

地方面の運動官敷く積む であるる標放運動に関む内 連続さる釋放運動に関む内

動する腔明帯充の如心調剤圏の偏東大會参加問題に

満洲國参加問題は

皇軍に對する國民的懸謝

國華日には必中國医を提

日を明して関民は一人残らっ文部省後援の「諸華日」を四月文部省後援の「諸華日」を四月 す | 「関節日の「花」の念金は恤

愛國婦人聯合會 櫻花を賣る

各部市各関体で費み「櫻化」を

署から三百八十個、流鐵河院で二百個の大口注文の外名會で二百個の大口注文の外名會で二百個の大口注文の外名會費り捌けた、一個の要價五銭だから、五千個で二百五十個を質揚げその内純会金は恤兵を質揚げその内純会金は恤兵 運輸から各五百個づて、静撃 區職人食ご料理店組合、國際 るいでみたが中央銀行、機関 のであるが中央銀行、機関 姉さんにつれられて、小學校 「新京高等女學校昭和九年度人 「新京高等女學校昭和九年度人 「新京高等女學校昭和九年度人 「新京高等女學校昭和九年度人

あものもあれば、白線人9の 制服に身をかためて登校して のもまれば、白線人9の

さくした様子も聞白いってしかも落ちつきのないお

を通する全亜細亞民族職和 ・ リック大台参加はスポープ ・ リ 明 書

には日夜悲歎に暮れて居ら

華日の標語は次の通りであることになったい。四月五日の図 き感謝さ、食敵の意を捧ぐる

皇軍の勞苦き犠牲さを偲

感謝と尊敬を捧べ 新で紙張天井に引火したが園 州國側消防障員がかけつけ消 地図側消防障員がかけつけ消 『けふから私

我が教育に於て強洲中會を開 例別傳道集會 新京日本基督

女學生より

新京郵便局では窓口の混雑を さけるため本年度から灸素控 あらが最初で事務員さして採 田、が鎖によつては判任官に もなれるここになつてをり初 任給も手き、宿舎手書なごを で電望者は至急臨時課項に ので希望者は至急臨時課項に

女事務員採用 記 されたのでは、 の来聴を飲迎するさ での来聴を飲迎するさ での来聴を飲迎するさ 皆敷史に輝く女作」 「本」 では、一様一様「も では、一様一様「も では、一様一様「も 四月五日(木)平後七時半大連日幕自井慶吉氏 「些督教神觀」 「罪感に対する基督教的考 四月四日(水)午後七年半

郵便局で

0

する事さなり多数の有力な

父兄曾へ寄附

9

屆

轉向派

第二日控訴公判

網路は朝鮮経由の音である 間一口は五日出帆の長崎丸で 間一口は五日出帆の長崎丸で

布望青順能事特番午前中栗萩のとき

タイピス

r

中等選拔野球

· 太馬略大同報計

お附 室町小學校長野訓導 は今回鳳鳳媛穂勤に際し子息 は今回鳳鳳媛穂勤に際し子息 が京高女武田勝雄氏は奉天 順動に際し子息在郷配念さ して金十圓を西 版場小學校父兄曾へ密附 奉天日基林三京雄氏

台馬車から下車の際羽二電中後自宅から宮廷府前に行 風呂敷包一個在中

▲ 補州國、政部總務可文書科本世民氏は二日午前八時でありた。 の際ロシャ毛布二枚機を置き忘れた。 全雄氏が河古作次氏は一日 全雄氏が河古作次氏は一日

△祝町二丁日大香地田中ラ 四圓を落した 際黒皮製ニッ折財ー個在の分ごろ中の銀订前で下車の さんは二日午後一時三十 千氏は1日午前九時三十分 ごろ家人不在中何者か侵入

现大洋對金票對金票 けふの銀相場

ゆから同十ゆの間自宅立間 大久保隆氏所有器皮製ポッ 東一條明六十番地中中井方 イピン一本アレキサンドル 時價八十五圓を窃 他訴院で開廷、応野県担つて、気軽の派五巨戦の第二回控訴

態に立至つである。現々は現在の曳網の狀勢は共粛主

四日日

四日、

五日兩公開

先週離時御禮特別與行 大人 三十錢 承生 二十錢

うつて努力し、

「甲子園園通」全國中等選技 事業第四日の結果をの如し 事業商業財信山州業製は十 九回に及び丘野三で享美勝 浪華商業對中京商策戦は四 對三二浪華勝つ

の成語であり、縄駁なうまのの字句はジャーナリズムのを確信する、種 シュリア朝鮮養闘を含んで によつてハみ虱の日本プロ

で窃取された

九至10

るき職品し、

を受ける。「中子園の通りのでは、「中子園の通りのでは、「中子園の通りのでは、「中子園の通りのでは、「中子園の通りでは、

五日目

枚切手一錢五厘+枚を置き

結婚解消の外なしさの意外なく東京護通」アラヤ殿下さの 消氣かへ 午後引殺の韓向、動徴に就い 東州さんさするものであ

動にコミンターンを越へて意味の傾向組で、日本的運

練習選手さ

耶得意の演技を具られよ 旧下部間島 由路底人 日下部間島 由路底人 以東好太郎主演

交離競技

極東大會出場

味の極向組で、日 言葉だ、自分は積極的な

小倉工業 五針四 岐阜隣菜 明石中原 二對一 京都商業

仁俠やくざ道

多年好評を博せる!

坂本式ペーチカ各種

の模様なりご聞心す、若し

機構の改革を監察する 多加不可能の場合は断然現

ニュースに當の黒田雅子さんはスフォリ消氣かへり只一人 自家に関が縮りて傍の見る目 も気の森な帽で黒田子野家で もだいて近親者が馳りつけ警

コモンターンのテーゼ。蘇に一九三二年の非科學的の

第一に共産黨の腐敗。第二

亞細亞婦人聯盟

本人さして民族常識の自覺を見出したこさ、第四に日本人さして民族常識の自覺

性外 病科

大森醫院

初

A

要·四十四三 植林町三十日

末都小供

菖吉 酯 面

衣雀

帶

浴

演

一長明

廣

一是明

元祿化見踊

所時

於四月六

春 本 兩 座 日

産業身へに拠し 労働者ごに急進小プルタョアが共

議會開催 創立準備協

某國の策動か

「東京図通」某所着電に依れ での黒田腰さの婚約談を解消 す。に決定しその形式で時機 に関しては考究中であるが、 右解消はエチオピアの形式で時機 る利害関係を持つ基因の質動な る利害関係を持つ基因の質動な

(大連國通) 亜細亞婦人聯盟 (大連國通) 亜細亞婦人聯盟 三百年後二時より大連河線 町 三百年後二時より大連河線 町 (大連國通) 亜細亞婦人聯盟

いかでは、 では前を残して午後一時でなかったが次 では、 の如き成績を残して午後一時

歳を痛烈に罵倒し 後三時閉 排つた點を述べ更に日本共産

近次回は四日午 十時に開催 殉丸投 三着 八百米一着 二分八秒二 希世

番

藤長間唄

藤勢

波好

會會

春

催

漆杵

間 園 動 多七

走高跳

組

小

守

一是明

越後獅子

一县明

吾妻八

景

千五百米

一日目

一長明

色

一篇明

元禄花見踊

是 踊 元

鞍馬獅子

一長明

柳

110 48111 1189 1 はこう トニッ大の 大の 米ッポルラカ デンサイフカ

地に終ける旅程を終り四日年

金に就く筈である

旅行團

上海見學

五千米 一着

一卷 一六分五七

△上等ソパカス入枕 ムナフトル地 布 圏 △銘仙フトン、座布團類 △春夏向新柄フトン種々 フトン類の 御用命は

張 出

其他

春の秘密山雲の名間の一下では東の名間の一下の一下では、東京の名間の一下では、大きの名間の一下では、大きの名間の一下では、大きの名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名間の名目の 设合座 香一是明 直に多上致

電話四七七一番

坂本商店

●銅鸠眞鍮ブリキ細エー式●トタン屋根、雨隠・煙突●長洲風呂釜樂造 新京朝日逋大河路一六

出張所 本店 電話三七五七番 大連

原田組

新京日本循編八二

會合

斯

玉屋布團

がす。三、四個日に互も市内 ・ 一日年後二時池谷、白石園 ・ は二日年後二時池谷、白石園 ・ は二日年後二時池谷、白石園 ・ は一日年後二時池谷、白石園

たされて限られますのですが、呼ばれたが、かあつて、呼ばまを脱れたのないできる。 前にあたる

これは、大きさま

が言はお暗のあとについて様尾 大きはお暗のあとについて様尾

胸解筝 反春堂

際京極人組合加盟店

さまがお行ちかねでござります。 そお感しにならました。

自分の後について來た影響の手

子にのかへ引き下つたのをみする

同市場內支店 電話三十九一者 人さまの階級にあたるお方でど お時は、それにつけいるやうに

と、東路の身分をいつはるのは

い高のり香

から問があったこととなじますが、「おいでたさいまし。勝尾さまのお歌切さまでございますか」

わたしのつれるひを一ト走り わきまへて居りますでございます

なになります

がはつて居りま

時れて、おいおかがお見えになり

他を自みず不和に陥るべし

即用即

子の 出

ר את התופשהו

触心の度過ぎて

「あの、最前は隠しのお方と存

自ら災職に罹る目病厄注意

便は二夕時ばかり、こちらに御

まますと、関守を積るを繋が出て、限学にこる帰草屋の姿に着

思ひますから、何か、物理量の方

して行びは大吉日はある

素の活動に酬

* それはもっ、とく

0 14 2

版新江 (雑工業) 戶 行友李風階作

での――では、お見えになりましたら、すぐ、お頭し申しますでご でれから、お見えになりまし

大を掘らの悔あるべし

水道の故障はい 話四八八六日 所

表替妻替 第二條通道的條例 新中郎 ,湖用

・ガスッ出ない ・火持の良い

服

●立 消へせ Ω ●値段が安い ●目方 正確

食料雜貨 正值+店 对商店

資滿本 本 金 店

中国 | 三二六〇 所 長 席 | 三二六〇 所 長 席 | 三二六〇 所 長 席 | 三二八四 | 三二八回 | 三二一回 | 三二八回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二一回 | 三一回 | 三二一回 | 三二回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二一回 | 三二回 | 三二一回 | 三一回 | 三二一回 | 三一回 |

三井物産株式会

一億圓(全額排込濟) 東京日本橋通室町二丁目一番地東京日本橋通室町二丁目一番地

台物嶄新柄入荷 おからだにシックリとあつて 合服のお仕度は・ 算盤に合ふ…・呼店で 田



なにか、土産をと思ひました

ぞ、これをお願めなすつて下さい。 だんの 世少ですが、どう

いょうでまあっこんなことを

受いことあはなかつたせるか、 出意までお願い申して、すぐお願 お時は、東路の万へ目まぜして

永製町一丁目九香地

相率温馨切符(柱度切符は 相數間二ヶ月) 中用數間二ヶ月) 中用數間二ヶ月) 等層荷报(新 等) 等層荷报(新

アーリストピューロの中央を持る

女中數名入用

れても宜敷りございます。 (計画)

中央通十

(通濟運輸公司) (通濟運輸公司)

殿ヤステラ 語サイク

懸きて 1 見京永楽町 别和

口腔科

診療時間至午後八時日期祭日午後休险

維料醫學士安利剛

◎御一報次引見積に参上可仕候◎

世界日本内地人が豊夜兼行待機ノ姿勢デ御待チ皆様ノ足トシテ奉仕スル富士屋タクシー新車捌輛入り マシタ 大飛躍 セル 富士屋 タクシー 員士屋旅館直營 、自動車ノ修理ニ應ジマス (瞬間機機関) 富士屋タクシ 電話四九四九七番



史新の春 本の洋品の 健康の要素の シャツ

話三三五〇号

電話四九四九七番 本 川 清 藏

富士屋自動車修理工場

10階目版谷次長から

野、趙汝县、羅挺邦、智嗣等、明徳郡は郡西、日井、稲府の加き入電かみつた

破表 以來 東那の 観塊

不調の最政策最衰以来支那

修聘特使一

的に尖锐化せんごしてゐる折

朝養會開催

受している。 ・ は我に元年返継改算に終て的 ・ 1千萬服に上る巨額の幼乳除 ・ 全を示したが大員二年度(大 ・ 日本・日子・トラン に終ても満洲風自體の安定さ ・ に終ても満洲風自體の安定さ

年度弾劾に断しても向二十八四千萬時の増収を見積つた本観し元年度歳入豊富に比心約

は次の如くである(軍位千無 二年度一月末歳人状況を示

△客車枚犬 八ペニペポペンペル

し (單位国)

八年度超道收入庁の

七月ごろ

水満 棉の米使節

しれからの行動

「東京國銀」日報法曹會主催で 第特便數級期額をが作員七時 年日比谷山水樓に開催された が、小山線科、王仁大春院長 が、小山線科、王仁大春院長

英さ見至重要空見お留むな天皇

公共組収入 三八三元回 (前年度に比し (前年度に比し 一二六〇 三三 (前年度に比し 一二十六〇 三三 (前年度に比し

月の機関に反して必須付料が類の機関

指数次の如し

あらを見る、頼劉指敗党に締めの保全以外は野しく観野に

指定にも残れる模様である

一决定一年二月日の

東新公園 政府は来5四月十六日 明明に 政府は来5四月十六日 明明に 東京の第一十六日 明明に 東京の第一十六日 明明に

築材

野で

△貨車收入 元/八五/五四 〈貨車收入 元/八五/五四 〈貨車收入 元/八五/五四 〈貨車收入 元/八五/五四 〈貨車收入 元/八五/五四 〈貨車收入 元/八五/五四

阪谷次長から來電

既将のmくであるが本運動は 中心に進められてゐることは であるが本運動を発

思想さ土地所有者の土著最氏さの職事、地方治安問題に格者するに至ったが、最近在議者するに至ったが、最近在議場の関策的重要性に修み流が、最近在議場を開き関係を得、初

隣國は

今後我を攻撃すまい

駐米ソ聯大使米記者團に語る

會社さの間にフェフペリン飛 所は今回フェフペリン飛行船 所は今回フェフペリン飛行船

12年 回飛行は本年五月下

國立公園

决定せん 更に五ケ所 製的期限は向ふ州ケ年さ

契約

質社をの間にプ

日本農業移民方針

斷乎初志貫徹

請演後ドロヤノフネ キー氏来り一場の誘演を行つたが同 を付ったが同

文部の招待に応じる地にコッツ・ナティ(中米)三日登

現の輸出は非常な激増振りを はりの銀輸出量は百七十萬元 にして之を一月分に比すれば にして之を一月分に比すれば にして之を一月分に比すれば

米調 二、〇〇〇、〇〇〇 香港 五二九、四二〇 香港 五二九、四二〇 「栗位上金龍」 五二大 出北、六〇〇 「栗位上金龍」 たし約四分の三を減少してゐる

ラジオ間に

直通電線開通

滿鐵々道收入

八年度

未曾有の巨額を示す

もなった、條件はたの通り あの新規公債を設けすること ではなった、條件はたの通り

「東京調通」内積省では我国 に東京調通」内積省では我国 島の三ケ所を主式決定、植元 島の三ケ所を主式決定、植元 を計画者々管行しつであるが を計画者々管行しつであるが を計画者々管行しつであるが を計画者々管行しつであるが

五十回丁一町装達京新 丁牛へ西需察警京新 水 WOハー三話電

モスクワウ

を第一位さし という とうかん こうりょう はんしょう はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はん はんしん はんしん

ウラジオ関直通線電信精通をイエート通信は際はモスタグ

満洲國の財政

二千萬圓剩余は容易

堅實の一途を辿る

千圓の減少に過ぎない妊成績の變態的太暗戦に比し僅か五年に、昭和四年民支約甲當っ

新京物價指數

のこは決定する豫をである、 のこは決定する豫をである、

中央銀行調查一

く正式指定する 警で

演習地きなつてる。

が現在陸軍の ちも いたが

百七十五萬五千圓の大崎牧を

州一日を以て締切られたが、 體昭和八年度閩道收入は三月 異常の活況を呈しつつある議 (大連関連) 議所 関連 関連

題類一億二千百六十萬一千餘

期日四月四日△穀行榜

,聯o對印赤 化計畵







鯉沼地方係長 街

「四平街支局種」流線線環局ので無公野に於て入れが動策である。到れる實際にあるので無公野に於て入れが動策として合法的且温健なる方法を以て目的を質量すべく目下を以て目的を質量すべく目下を以て目的を質量すべく目下の機動を保し機動を保しを表面であるが其間に反対抗動策にあるが異常に対するを受量するを整備なる方法を表面を表面であるが其間に反対抗力を保しを表面であるが其間に反対抗力を表面であるが其間に反対抗力を表面であるが其間に反対抗力を表面であるが其間に反対抗力を表面であるが、表面である。 縣公署腐心

洮局勤務の人々は約二百名 選次の大異動で輸出する元

る元

ささなつて何る

命され散日中に充員さ増終、警務長(不明)の 秀、横筹曼國安進、工资是高務金飯村惠斉、運輸最佐縣下

日日の下に暴露か

今や英ツ關係刻々激化

兩國間

庫関、大塚緑繁家屯通道能では平青緑四平街伊事。の管轄監督

が最近動印戦略上重

動車消路

国軍部では長くも 国軍部では長くも のご十五日行程を催かこれ方の中のご十五日行程を催から 変元日に短縮し加みるに供いるにはいる。アフガニスタ を得まから窺ひその事用 を完全に奪ったものである。ツ級の陰謀を解して印度カシ も、ツ級の陰謀を振動して印度カシ を発を行まから窺ひその事用 を発した。とのであるにはいる。 のの陰謀を疑知せる英 知るなる。

米では約三週間滞在各方面を 観察し朝野の各名士ご恰を通 じて光づ日米親藩の受職を行 の質体を研め珠に編州の権在 二十年計畫を強討し、七月仕 六月岬戸港出帆大岸丸で結米 、1月世 大月岬戸港出帆大岸丸で結米

入れ政府も又添洲國家職の

所謂国家職の奥

給の波に乗る折柄さて裏面

を表した、全長九千五百キロ と帰めて有意義度大なるもの 上帰めて有意義度大なるもの

し、大統領は三日右契約を栽 空路開設に関する契約を締結 空路開設に関する契約を締結

線附近にて北林河待避

来る限り速かに之が審議を終 り次第國立及副委員會並には 中間の正式決定を見 を関するの正式決定を見 を関する。最に決定の三ク

歐洲ブラジル間

定期航空

可した契約の内容は左の如く である 学世国の報客及び郵便物輪 送定期航空を行ふ

特演機階近に於て線路破損を満西方約七キャの地略北林河

をピックアップしち五ヶ所は雪山 (北海道) 日光の五ヶ所

北坡東部線鐵馬

湖(北静道)日本アルブス、大湖(北静道)日本アルブス、大

線破壊

6れ四芬河行貨物列車は脱線

大良ごされてある。 大良ごされてある。 鐵路局號事處

排事機は機長、副総長、総務 も一日から兆南機路局四半街 り一日から兆南機路局四半街

お話氏

(四平街を局候) 去る1日午

口の胸京蛇を破つて屋内に使

照せまさるがしむ 実容課長の諸氏をはじめ四十 代表。佐藤工務総長、折田奉 代表。佐藤工務総長、折田奉

通列車に従来得られなかつた でして関線では四月一日からさしての給業劈頭のサービス (四平街平灣號) 平河鐵路線

本倉を初め西げ支那料理を

行っての不在中に同家の裏へ松田舎んさんは千供の選髪に松田舎んさんは千供の選髪に

調理する直唇食堂車を連結器

始業サービス

留守中に盗難

郵便局改善

城外に行く機令ぜられるました。 南門外年拉山門精道に豊懸る 本類単中の「名は突如背後か を野此を令じ小型拳銃を以て を関いるは突如背後か 住の馬車夫李雲籍は靖洲街三段七時三十分頃市内順大街景 馬路々上に於て容得中百姓員 【四平街支蘭製】去る一日午 騎人二名樂客を粧ひ樂車し

北浦移駐に決

先發降〇〇〇

備兵は師前族場に整列する中に、任地に第一歩を印した新に、任地に第一歩を印した新

中の領立守備職第つ〇〇時は中の領立守備職第つ〇〇時は

非常なる好評さ感謝を受けた事情なる好評さ感謝を受けた。

中佐以下〇〇〇名の移兵は三

日午前八時七分階列車にて

(四年街支局推) 鎮洲事變以 ニャームは一般民衆をもつて が二日午後一時軍用利車にて されが本縁移駐に早くも帰郷 馬車夫してや

があった年度で時頃。見食があった年度では別事職は犯人職機中の第二日年前七時年頃職選事酬刑情中央所路上に於て事助不審の中央所路上に於て事助不審の中央所路上に於て事助不審の中央所路上に於て事助不審の中でに表示を設備して、中央所路上に於て事助があった中度である。

毎月曜日に窓口へ未翌所に帰 の説明代音等で

中の個四月一日から更有四名教徒を共に一般市民から随は外後で共に一般市民から随は

松海の加き高鐵器に北浦の任の答解終る中打振る小俠の波

一、同事 3 7 7 、選事スペキ人員八名

醫院 処方箋眼鏡鐘製 金 原

微識

滿知

鏡眼 香二九二三話電

●急告

ライクリー

ングの

クリーニング 責任ある専門店へ御用は安心の出來る 3 御下命下さい!!

專門店 熊本屋 地話三四三五番

一、 瞬の離光杵蹬ヲ有スルニ十字以下ノ日本内地人身體 運轉手募集 (五名採用)

昭和九年四月五日 富士屋タクシー

履歴皆携帶伽談ノコト

電口の九 九四七番

山崎齒科 祝町三目新京子不可前 中央通西公園前









警備關係を考慮し

周圍三支里は

高禾播種禁止 その他各重要都市も制限

- 入つたので新京附近"坡"創日部警察院では農村の播種期

原復川、小台際、雙域堡等領の相近は二甲、南濱、北濱、京陽三磯道剛卿ならびに長農を双、是伊なごの街道の左右を一里以内には高製、玉蜀その側隔不を種植せぬ中う管下の側隔方向に通道した

だに揚ぐる者は評議

三日午後十時ごろ市内三笠町一三丁目王某方で開州人十数名が非康さなり紙牌賭博を開展した。岩田の所刑事除か探知し同家を出の所刑事除か探知し同家を出の所刑事除か探知し同家を出して紙牌、並に場鎖を押取しは満洲國政府に動揚してるる官吏があつた。同署で引續る官吏があつた。同署で引續といい。

廿二日に改選 定員十五名。內七名は官 第二章 評論自會 第一款 組織及選手 第一條 本會に評談員十五名 に 心置き共の任明を一領年ま 中 1但し再選を妨けず 力 2を定め領事官の認可を経 る こす

破産者にして復種を得ざ

城內外荒

白晝强盜逮捕さる

首都警察廳近來の

お手がら

とさになった 一、役員選挙 一、支部規程の審議

左官業者が

組合結成

一、開資の解離

日五月

昭和九年三月十七日新京橋園 事館令第一號を以て新京店留 民會規則の改正があつたこさ は表領の通りであるが。右に よき新京店留民會は來る二十 二日午前十時から午後三時の 間に評議員の投票選率を行ふ こさとなつた。定員は十五名 であるが内七石は官選さなる 居留民會評議員

四年九和昭

に就ては別項が萃せ参照を許すち選集 第九條 *會場區內に居住し上本會課金を納むるものは上本會課金を納むるものは上本會課金を納むるものは上本會課金を納むるものは

一、六年以上の懲役又は禁錮 の刑に成せられたる者 の刑に成せられたる者 但し本會地區内に低住せざるも引頼さ六箇月以上本會 秋けを受くることなきに至 秋けを受くることなきに至 る迄の者

第十一條左に掲れる者は評大、本會課金潛納中の者 四 二、本質の有給事務員 一、監首官職の在職官更並に 現役軍人 る者 茂航後二箇年を終ざる者 調員たるこさを得中 在智禁止を命ぜられ満胡

學校職員

百萬國で三百四、五十萬國の大水十萬國するが郷局の場合なごにより明年度の増加は約なごにより明年度の増加は約なごにより明年度の増加は約ながにより明年度の増加は約なが、大大十萬國の大変により明年度の増加は 増設するの外全統各地に相當いて額京市内に総局四ヶ所を

長に榮穂の鯉沼兵士並氏から長から新京地方事務所地方係 挨拶電を

ちよろしく韓指導を乞ふ鯉沼の大野地方事務所勤務を命ぜら 新舊地方係長

着赴任期

一、高麗三唱解散

[札幌國通] ||日午後七時北 北海道中湧別の

を単数の百七十戸を焼して同年後九時半鎖火した、 肉瓜の年後九時半鎖火した、 肉瓜の中の一大学数の百七十戸を焼して同年の一大学数の百七十戸を焼して同ります。 海湖北見副校別部中湧別村

の遺骨を

七日着京

が雪日期員は午前予時取吸部官は六日午後四時三十分解京官は六日午後四時三十分解京

観兵式の

低名、引率者名、関体名に申込み順体辞観報の変付をに申込み順体辞観報の変付をに申込み順体辞観報の変付をもけるこさもなつてゐる、尚申込者は一般順語ではその関係と、明体名

土龍山南方

徴行きを予想されてゐる

官吏も混る

滿人賭博團檢擧

我分遣隊匪賊を撃破

一、土體山分遣隊は三月卅一日午前一時以來土曜山南方二里の地點丁寧 子附近に於て謝女斗の指揮する七百の匪賊を攻撃、敵は頑鬚に然低せるも多大の損害を受抵低せるも多大の損害を受 部山方前其後の狀況につき左 部山方前其後の狀況につき左 カの損害は戦死一(特務曹一・長)資傷二・此の戦闘に於る我

大刀會順六白を攻撃之を撃大平川附近に於ける紅槍會大平川附近に於ける紅槍會 我方の損害戦死へ

鯉沼地方係長

大塚長は挑南。路局附属事業 方塚長は挑南。路局附属事業 大塚長は挑南。路局附属事業 正式に赴任する豫定、なほ山 内氏の後(鹽沼兵士郎氏は一 内氏の後(鹽沼兵士郎氏は一

支部長及側支部長の推薦 グロテスクな

遺棄死體

は埋められた奇韻なものを一 春の来だ解けやらぬ氷上に半去る一日。ボロに包まれて早

なほ本部で一月優良種犬叫一 頭を福逸本園に建文したので 選くさも五月中旬には第一次 輸送の分が大連に到着の豫定

日本見學武官 六日出發

-一分の子に三一百の 一百の 匪團が襲來

家屋日四十を燒却人質を拉致 院で練剖すではやである 、今6人間さの因果糊像が推 っから人間さの因果糊像が推 なが、除りにもグロテスクなが聞から見るさ、ご

た、新人學生三白三十名、なから昭和九年度人學式を行つから昭和九年度人學式を行つ 6三六十名の人創式が行はるほ幼稚園では九日午旬十時か 室町校入學式

来ら七日午後六時から市内東 三條通り賓宴構で栃木縣人會 が明確される會及金三洞、當 日は領京神社へ奉納する奈良 栃木縣人會

の事である出幣申込みは室町の事である出幣申込みは室町 剝うつしの大刀を供配する

朝鮮扶餘郡 渡船顚覆

「京城國通」三日午後四時 五分忠清南道扶除郡渡船城で 衆客诵載の波船が蹈獲した、 衆格・個種見、行力不明数十 名あり

中後三は三十分死亡

住消息 一郎さん三十一日

▲松井納二氏(佐賀縣)錦町三 丁目七番蜩へ 倉庫新京支庫~

新京吉野町一丁目

▲杉川豐治期氏(静岡縣)中央 一丁日二十一番的/二へ ▲馬場新治氏(大分縣)就町一 吉田秀雄氏(静岡縣)日本橋 丁目二番叫へ

●昭田貞惠氏(愛知縣)発明二

から住吉町二丁日六番地へ ●町四丁日十六番地へ ▲葡萄式姓氏(富山縣)炒帛寮 △小山奘氏(長崎縣)同上へ ▲佐藤省吾氏(岡山縣) → 央通 ▲推名悅三郎氏(岩手縣)羽衣

等き手を携へて出場に決定が、これで議別副選手も我は支那側が反省して関係なり

広守り立ても行く、然心私

高く南洲図々依がひらめき如何によつてはマュラの空

幽館大火災 義捐金崗

代表シャ △二十圓路人自領車運輸

大氏長男春喜るん二十九

●東二條通り五十八番地ノ一年前四時死亡

●路月町三丁日七十七香地/ 三山崎必雄氏三女孺子さん 十九日出生

●大和通り四十二番機吉本満

▲羽夜町四丁日瓦斯會社 ◆宅 二十四日出生

●路月明二丁目川十號の二十 一横野信次氏長女静江さん

から日本稲通り卅二番地へ

働から離月町二丁目二十九 瀬の篠城簡易宿泊所へ

洲國の出場確定

山本博士確信を語る

を押切り

3 F 四

十周年記念日に於て各地支部 た、商書地回映園館イスラム 統京城内紅卍曾は過般の創立 信市長宛送附する選びさなつ 競によつて先づ示されたが、 大本教釈原支部の手を通じ函 百五十元を集め得たので近く 回館の大火に對する絶犬なる 代表にはかつた結果、八千八 函館の大火に對する絶犬なる

けふ國華日

國旗を揚げ櫻花をつけませ

英道 野務司は切手さ選者の 値下げにより年間約四十萬風 の減收さなるのでこれが構填 について考究してるるが人口 の増加さ編人の通信機職利用 は年々すばらしい増加を示し は年々すばらしい増加を示し

新京紅卍

會が

月の月は僅か五副体百二十四名に過ぎなかつたのに比較して三月中の旅行順体は二十團で、大百四十四名を領に十五副で、大百四十四名を領に十五

▲角力部▲卓球部▲軟式野 なほこの四種は従来体育場 なほこの四種は従来体育場

備洲國交通部で

りである

軍用犬協會支部

八日開く

市内に四

を要性を関する。

四大〇数

一四人 八五二 員

社園法人満洲軍川犬協會では 新京にも漸次會員が増加して 支部の設置の必要に迫られて でを部の設置の必要に迫られて でをおかる場合ので数回 の変がに至り、来る八日午台 十様から室町小単被講堂で編 十様から室町小単被講堂で編 十様から室町小単被講堂で編

山本博士に寄せた一電で確定 有男に列耶するタン教授から を東大會参加は乾糧の如くフ を東大會参加は乾糧の如くフ

山本博士の書頭に謝意を表す

八千八百五十元を贈る

新点總備事館

六百八十三頭さなる

試寫

御大典記念映畵

さは銃弩の通りであるが、二 窓行順体の著しく増加したこ

櫻心をつけて感謝の意を表しまでもら各戸毎戸に閾旗を掲げ胸には誰でも四月五日は『歯華日』を定められたか

(日

7

*)

新京日々新聞社御中 新京日々新聞社御中 新京日々新聞社御中 新京日々新聞社御中

新年度から又元の総書に改め 満歳に程は従来何、かの間検

6nt

四

露人自動車運轉手の美學

戦能より開始した 募集を戻く

中での住害町を製もつたるし 犯人は三十一日午後四時二十

滿鐵社報

春風に乘

視察旅行團激增

三月は二十團、六百四十

四名

ちに本社へ申請する

新

函館火災

日

日給の半額を割

कु

日

金一圓住吉町獨洲製油內趙子 ネスサヴランス

▲押鐘一年氏西二條通っから

五日(木曜日) お京

高顧問の訓示をうけて十時三に集合後軍政部大臣、多田政

十分宮廷府に至り次いで開務

▲落合光雄氏敷鳥寮から白菊

同

一時〇分

华俊 同

〇時五分

二時五九分

矢組から窓町二丁目一番地

▲古賀甚年氏蓮萊町一丁目八

★機千代治氏会博家から路上の泉政晴氏花園町三丁目二十二號ノニへへ小泉政晴氏花園町三丁目二十二號ノニへ

地へ、金吉岡真氏露月町三丁目六番大城から三笠町一丁目六番

香地から説明五丁目十四番

同 五 時 三 〇 分 五時五〇分 二二 五特四〇分 ニュースガ 3 は一部語)

東京東部の様々の表示では、

東京ラデオオーケー 泉より 13年130分 五時 〇分

▲山岸新次氏吉野町一丁日五 から梅ク枝町二丁目二番地 ▲竹中女四郎氏富士町三丁目 番地から曙前四丁目十二番 二十三番地から東三條語り 町三丁目一番地九ノ四へ 三神三〇分

日 大は〇分 エユース (東京より) 七時〇分 軍族授與式につい で(朝語)

から曙町四丁□二番単へ

目

新京蓬萊町(中央御新京日報社西談) 罛 七時三〇分(傳説の優)中山(東京より)

電話三八

田

材

A —

國產品!! 是非御愛用を

揮發油、石油、輕油、重油 モビール、グリ 各種機械油、植物性油

隆泰公司商事部

電話| 二|四六番

帶

日 香舞の **是** 是 明 明 明 菖吉 **浦原**

於四月六 **基**酮 春山南田 元祿花見踊 不雀

演

藤勢 波好 會會 春 季溫

主催 漆杵 間屋 勘勢多七

香外 一 清 類 現 元 所 明 ■ 長明 色 種 守 松 一是明 一 馬 明 一長明 吾 元祿化見踊 越後獅子

鞍馬獅子 1 書明 学岸

▲近口傳次総氏(藤岡縣)華天か ▲松立昇氏(北細道)回上へ ▲松立昇氏(北細道)回上へ

一日目

主たる任務はその専門屋が指示の特論であります。本よりまではない」で含ふのが気年

0部前

三九五

際

社式

鹿白松黑酒銘

特等白米 三斗入一以 六、五〇

清酒菊正宗 一升瓶助三丁〇〇

甲萬醬油

四ガロン人

富哥哥西村洋行

共が子乍ら感心なるのだま

成年を教育し

ませう

が、 を数さへる自分かしもん」ま あいませられる事がめる、か カにはお信じになれないかも 方にはお信じになれないかも だ凡てが愛めてるない契明の

十哩を服破する健先塔では、大調コロラギの山中に最近、大調コロラギの山中に最近、特を建設した、おは表情航空塔を建設した、おは表情航空で、あるので米皿の世界に誇るを

ナナ .

二、作辯及保證

-000-六五吗

一切業務質

度でもなされば誰方にも直ぐ動の解寂の中に真の体験を一

の角逐的関係は遠く替佛戦争以来のものであるが最近、巴以来のものであるが最近、巴以来のものであるが最近、巴以来のものであるが最近、巴以来のものであるが最近、巴力、大工ダヤ系資本のものさ見られ、其の外交戦術がジャーナガムを通じ敵化の勧あるは往目に値する

正札の

追いる

爆發的實行を示す

特價

供品

清酒菊正宗さはのつる

本日より向二十日間

~

ました!

·完全蒸氣消毒濟·

品質第一新鮮牛乳・

話二一四七番船町四丁目廿九ノニ

律事務所

牧場が生れました!!

舞臂に依ち 5 も安心して飲める牛乳多甲摂職ある獣醫の綺密なる

西京新

中には人途をしたばつかりにまだこの邊のは上々の方で、 自身の連懐談でございます。 んだナシセンスがあるさは彼丁つた、いや出席督師にも能

こ」で、横面をしたたかひ「何んだ朝つばらから眠い

ばたか

切を必ず二倍三倍にして報ゆの主人の厚意、この同僚の親

サ 名四月五日

員 位

女主人は且つは陥き

で常に緊張の氣分に流ち、物を発表は良くなり供内は一般しなから、そして翌日から全部の入所出席を断行された。 そして翌日から全部の入所出席を断行された。以来は良くなり供内は一般しなまり、
は良くなりは内は、
は良くなりに内は一般していて
源とは良くなりに内は一般して
はいまり

脂勝になるのが多いのでござき任の気持を気象してつい映

た。以来内員の風

4せん、江湖の大衆が総の店主雇傭士の熱心では

なつて常らなけ

海の外から

サナバミセキ冬丸朝松ミシフ赤大亨山里馬玉サフテキ菜ベ水タ蓮白人午蕪タワ連 シスセフ ウ ザ鮮 門のウ 大 マ 合 ダ レク ア サ 『ロピリパリリ瓜ヤ同地ガガキ根根学学学薔薇ウンウンシ菜菜4根菜参萝 Fビ

帰場外交に油を注ぐ

り向けてゐたさの事で、主人をに將替へたり、鬼金でもの情をの穴埋めに擬をその儘目分の飲食

青訓 の眞價

新京青年訓練所 新京青年訓練所

つ飲む買ふの三拍子揃った不エー通びに手をもびに所謂打 訓生の隣に凝しるる兵隊さん ではありませんか、兵隊さん ではありませんか、兵隊さん れるちやないか。ホラ抱つこ きろく「ウーウー」「何だ未 した気持になつて下

働いて 吳れお 前の 行つのかはり終つたら直ぐ隔 数家各位。 經 世 案各位。

相場

下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画 下加支持作映画

主義語り確實に終速に集金

からく」……からした戦励と、、君の留守中は俺が君の分よ。いもから行つて来いることがあると。いい

座

春の秘密

段ナルモ半年間一圓五十乃峰

区 光線を置いた。 右は 不 は は で で 不便 さ 映 数 で 不便 さ 映 数 ぎ を な し す か に な は で な は か で 不便 さ 映 数 ぎ が 極 め て 大 線 を 家 出 し た 、 右 は で な で か に 数 を 家 出 し た 、 右 は で な で か に 数 を 家 出 し た 、 右 は で な で が し か で 不 便 さ 映 数 ぎ を な く す

畵

四日、五日兩公開 先週納員御禮特別集查 本人 三十錢 本人 三十錢 本人 二十錢 東人 二十錢 東 島澄子主演 來日亦解 後個田縣小所 東 島澄子主演

将茶館 角風呂

其

设备 イピスト

のときのときを記載を表生のできませば、一名採用 **大同報前

電話公米10二二番

齒

科

留

殿四

光十 不此

馬羽羊行自動車用品的 馬羽羊行自動車用品的 信用第二十四章奉天千代田通三九電話三七〇

知 識 眼 源院

· 滿聞會社指定商會 與東軍電氣指定商會 與東軍電氣指定商會

内外線電氣互事並二動力据付 昭公司電氣部

D 齒と胃腸の 健康菓 福田支店 場工達大製製高網

市 食料品と 配達は飛行式 場內 日華洋行 電話三三四三番 は





(可容物便都電三百)

地番八目丁一町樂永京新

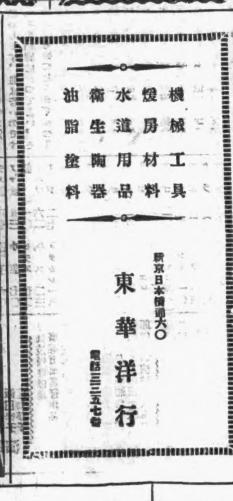


京にも 度お越しを願ひ 東氣分の 三型四三丁目

の機械場 長春鐵工所 新京東三條通子香地

(14)





各種ベニヤ板製造販賣

元家

平和洋行時支店

ヤ

板專門

店



積立金金

壹 億

圓全額拂込濟 一千二百七拾五萬圓

時診問療

往宅診

前十時より午後二時まで

随時住診の器に題す

りにあらず (日急患は此の限

□日曜祭日午後休診□

7	科兒小		科內	科	科外	
新原	皮	肛	筈	花	耳	
新京八島通老松町 院長	膚	病	元	柳	鼻唧	
舍·	病	科(入院	醫	病	咽喉	
元	科	入院隨意)	院	科	科	

陳宝家 列內具 設裝建 備飾具 設計製作

木醬御



梅ヶ枝町四丁目十四番地 電話三三四一番

名古屋、大灰、神戸、門印、長崎、倫敦 の、が、二一、アレキサンドリヤ、五質 フタ、蘭資、新嘉波、ネウテバヤ、バタ フタ、蘭資、新嘉波、ネウテバヤ、バタ 京原、大変、神戸、門印、長崎、倫敦

横 濱 新 京 支 馬 横濱正金銀行

共二司 舍宅

唸を生じて大評判 小児を外に大發展 仕事道出し樂 鰻かば焼トどんぶり 三笠町二丁目 靑 電話二九四二番

小兒科 專門

倉醫院 来學校正門前(電語二九六一卷) **±** 小倉久雄

小內

杏林堂醫院

島信之

堂脇サト子

兒

療受付 正午より午後三時まで

き響温 各種 炭は 油 米各种 ★ 全地側に命機試用の上標を削引な切に再順申します。 ▲ 遠近多少に不拘 配達迅速▼ 即川賣 **千葉商店精学** 品質本位の 小丸質體 0 電話乙四乙一 *:: 印 醬 油 等品層物なし 小部





アヘン、モヒー 帯 責任を以つて推製出來る!! 開味を『岩城セメ 次 第 選 呈 メントと石灰の着色剤 ペ律料カセインの特價提供● 作新 理³ tı 100 和 【容器一封度、五封厚罐人】 電話四 七九〇 *



